



La Vida en Paraguay

～パラグアイでの暮らし～

青年海外協力隊
平成 25 年度 1 次隊
メルセデス・ミルトス
小学校配属
豊橋市立南部中学校
夏目千秋

オラ ケ タール
¡Hola! ¿Qué tal? 南部中のみなさん、お元気ですか。2015年初のパラグアイ通信です。2015年もみなさんにとって、素晴らしい1年となりますように！

こちらは相変わらず暑い日が続いてはいますが、鈴なりに黄色やオレンジの実をつけていたマンゴーも終わりを迎え、少しずつ季節が移り変わっていくように感じています。

～活動紹介⑤～ エキーポ・デ・マテマティカ（算数チーム）～

エキーポ・デ・マテマティカ（通称エキーポ）は、数年前に日本での研修に参加されたパラグアイの先生が、よりよい算数授業を研究するために提案し、結成されたグループです。現在は、5つの市から約30人の先生たちが参加しています。私たちボランティアは、各学校での活動の他にそのグループの講習会のサポートもしています。以前紹介した授業案集や間もなく完成予定の算数問題集の作成も彼らとともに行ってきました。

講習会の頻度は月に一回程度です。バスで片道2時間以上の距離にも負けず毎回参加している熱心な先生もいます。

～講習会（コンパスの使い方）～

図形分野で使用される三角定規、分度器、コンパスなどの道具は簡単に手に入れることができます。しかし、あまり使われていません。講習会を通して、使い方を学んだ先生達が、各学校でも講習会をし、授業に取り入れる先生も出てきました。



～公開授業と協議会～

算数において、計算力が重視されているので、教材を使いながら、計算の意味やプロセスを考える力を育てるような授業を提案しています。



学校行事：クラウスーラ（修了式）

パラグアイの学校は、2月末から始まり、11月末に終わりを迎えます。その翌週、保護者に成績を手渡した後、修了式と卒業式を合わせた式が行われます。（各学校で日程、式の持ち方は異なります。）私の配属先では12月10日に行われました。全校児童は参加せず、卒業する9年生、就学前児童、1～8年生の成績優秀者、算数コンクール優秀者のみの参加となりました。証書授与のほかに、上級生から下級生への引継ぎがあったり、就学前児童による劇の披露があったりし、微笑ましい式になりました。



引継ぎで国旗を受け取る児童たち



就学前児童による世界平和を願う劇



市長から証書を受け取る就学前児童。来年度からは1年生です。



全員制服を着用。女の子の多くは髪の毛を伝統的な編み込みできれいにまとめていました。

スペイン語紹介

スペイン語でスペイン語はエスパニョールやカステジャーノと言います。パラグアイでは、後者のカステジャーノという表現がよく使われます。母音はa/i/u/e/oの5つで、ローマ字と同じように発音すればいいと言われています。しかし、ñ/rr/llのように日本語にはない発音の文字もあるので、それらの音に今でも私は苦戦しています。

今回は、とてもよく使われるフレーズを載せるので、機会があればぜひ使ってみてください。

オラ ケ タル ムイ ビエン
Hola. (やあ。) ¿Qué tal? (元気？) Muy bien. (とても元気だよ。)

ム チョ グスト グラシアス デ ナダ
Mucho gusto. (はじめまして。) Gracias. (ありがとう。) De nada. (どういたしまして。)

ベルドン ゲ リンド ケ リコ
Perdón. (ごめんなさい。) ¡Qué lindo! ¡ (すてき！) Qué rico! (おいしい！)

ムイ アマブレ ソイ ハボネス
Muy amable. (とっても優しいね。) Soy japonés. (私は日本人です。)

ソイ デ トヨハシ
Soy de Toyohashi. (私は豊橋出身です。)